科目区分	専門分野	科目名	日常生活援助技術 I (活動・休息)	対象学生	第 1 学年
		単位数(時間数)	1 単位 (15 時間)	学 期	第 1 学期
担当講師	大倉 令			実務経験	有
科目目標	活動と休息の日常生活援助技術を習得する。				
授業計画	<p>第 1 回 基本的活動の基礎知識 (講義)</p> <p>1. 活動と運動</p> <p>1) 活動と運動の意義 2) 活動がもたらす身体への影響 3) ADL と IADL</p> <p>2. 姿勢の種類と特徴 (姿勢の定義、良肢位)</p> <p>第 2 回 ボディメカニクスと体位、体位変換 (講義・演習)</p> <p>1. ボディメカニクス</p> <p>1) ボディメカニクスとは 2) 安定した作業姿勢 3) ボディメカニクス技術の原則</p> <p>2. 安全安楽な体位</p> <p>1) 体位の種類と特徴 2) 体位が身体に与える影響 3) 同一体位による弊害</p> <p>3. 安楽を確保するための援助</p> <p>1) ポジショニング 2) 体位変換の方法</p> <p>第 3 回 安楽な体位・体位変換の実際</p> <p>ポジショニング、仰臥位から側臥位への体位 (演習)</p> <p>第 4 回 移動・移乗の方法 (講義)</p> <p>1. 移動動作</p> <p>1) 歩行介助の基本 2) 歩行器の種類と使い方 3) 杖と松葉杖の使い方</p> <p>2. 車椅子移乗と移送</p> <p>1) 車椅子の構造 2) 移乗と移送時の原則 3) 端座位から車椅子への移乗</p> <p>3. ストレッチャー移乗と移送</p> <p>1) ストレッチャーの構造 2) 移乗と移送時の原則</p> <p>第 5 回 移動の実際 (演習) 水平移動、仰臥位から長座位、長座位から端座位</p> <p>第 6 回 移動の実際 (演習) 車椅子とストレッチャーへの移乗、移送</p> <p>第 7 回 睡眠・覚醒の意義と援助 (講義)</p> <p>1. 休息と睡眠の意義 2. 睡眠の基礎知識 3. 休息と睡眠を促す援助</p> <p>第 8 回 終了試験</p>				
評価方法	筆記試験 (70%)、演習への参加状況 (30%) で総合的に評価、技術チェック有				
テキスト	系統看護学講座 基礎看護学〔3〕基礎看護技術Ⅱ 医学書院 看護実践のための根拠がわかる基礎看護技術 メヂカルフレンド社				
講師からのメッセージ	<p>形態と機能、疾病・治療論、栄養学の学習内容を想起しながら授業に臨む。</p> <p>看護技術は、デモンストレーションや DVD の視聴によりイメージ化する。</p> <p>車椅子移乗の実際については、授業の前に学生がテキスト等を参考にして、移乗技術を練習してから授業に臨む。</p> <p>学生間による模擬患者体験を通して、援助を受ける患者の心理を知り、援助に活かすことができるようにする。技術練習を十分実施して技術習得状況を教員に報告し、不十分な部分は事前に指導を受ける。</p> <p>国家試験出題基準を確認し学習すること。</p>				